

新型コロナウイルス～感染リスクが高まる5つの場面～

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためには、市民の皆さんの予防意識と行動が非常に重要です。引き続き「マスクの着用」、「こまめな手洗い」などの基本的な感染防止対策を徹底し、常に「感染しない」、「感染させない」ことを意識しながら、行動するようにしましょう。また、次のような「5つの場面」では、感染リスクが高まります。極力避けるようにしましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

1 飲酒を伴う懇親会等



飲酒の影響で注意力が低下。狭い部屋に長時間滞在することで感染リスクを高めます。

2 大人数や長時間におよぶ飲食



5人以上の飲食では大声になり飛沫が飛びやすくなります。

3 マスクなしでの会話



マスクなしでの近距離(バス車内等)の会話や、カラオケは飛沫が飛びやすくなります。

4 狭い空間での共同生活



狭い空間での長時間の共同生活は、感染リスクが高まります。

5 居場所の切り替わり



仕事での休憩時間や、喫煙所など、環境の変化等で感染リスクが高まる場合があります。

(新型コロナウイルス感染症対策課 ☎096-364-3311)

令和3年度(令和2年中の所得に対する)市・県民税の申告は3月15日(月)まで

申告に必要なものなど詳しくは、市政だより1月号を確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則郵送での申告をお願いします。

申告に関する相談は「市民税課申告相談専用ダイヤル」(☎096-328-2183 ～3月15日)へ。

やむを得ず、対面での申告相談を希望する方は、各区申告相談会場を設けています。市政だより1月号の6ページに掲載している日程表を確認してください。混雑緩和のため、事前の申告書への記入をお願いします。

※各会場ごとに人数制限があります。

※申告期間中は職員が会場へ出向するため、区役所税務室窓口での申告受付はできません。

1月25日より市ホームページ上にある「住民税額シミュレーションシステム」を使って市・県民税の申告書を作成することができますようになります。

詳しくは、市ホームページへ。

問い合わせ先

○市民税課申告相談専用ダイヤル(☎096-328-2183)

○市民税課(☎096-328-2181)

市政だより1月号



市ホームページ



確定申告について [申告所得税・贈与税・消費税(個人)]

新型コロナウイルス感染症対策のため、可能な限り自宅からスマホ・パソコンでe-Taxにより申告をお願いします。

期間 2月16日(火)～3月15日(月)

※土日祝日を除く

※2月21日(日)、28日(日)は開設します。

時間 午前9時～午後4時

会場 熊本城ホール 1階展示ホール

事前作成会 2月3日(水)～2月15日(月) ※土日祝日を除く

※事前作成会期間中は、「税理士による確定申告無料相談」も実施しています。

※会場の混雑緩和のため、「入場整理券」を当日配布します。「入場整理券」は国税庁のLINE公式アカウントでも事前に発行できます。

なお、混雑の状況によって、後日来場をお願いする場合があります。

※2月3日(水)～3月15日(月)の間、熊本西・熊本東税務署に申告相談会場は開設していません。

申告に関する相談等、詳しくは、国税庁ホームページまたは電話で熊本西税務署(☎096-355-1181)、熊本東税務署(☎096-369-5566)へ。

確定申告特集ページ



昨年10月18日に「市長とドンドン語ろう! in 市電」を開催し、熊本の交通機関の未来について、市電の中で語り合いました。

市電とまちづくり

市電路線の延伸について、現在健軍町電停から市民病院までの延伸が検討されていますが、広島市や富山市など先進的な地域を参考に、路線がループになっている区間があるとなお良いと思います。水道町辺りから浄住寺→子飼橋→熊本学園大→味噌天神を通り水前寺へ抜ける路線であれば、沿線に高校や大学、周辺には県立劇場や合同庁舎があり、利用客の増加が見込めるため将来性があると思います。

市電の利用促進について

プロスポーツイベントの開催などにより、市電を一時的に多くの人々が利用することが予想される場合に臨時便を運行することで、多くの人に利用してもらえそうです。

東京などでも野球の試合やコンサートの日程と併せて臨時便を走らせることがあります。今回の「ドンドン語ろう」会場であるこの電車も貸切で臨時的に運行していることを考えると、いいアイデアだと思います。



住宅地や学生が通学するような地域を公共交通が通っていることが重要であり、どんな公共交通機関を使っても簡単に乗り換えを行えることが大事なことです。市電だけで環状線を実現させるのは困難ですが、市電・バス・JR・電鉄が一体となりスムーズな乗り換えが実現できれば、十分に利用してもらえそうです。